

PRODUCTION SCHEDULING

Slate

使用マニュアル

基本操作・日々の運用・データの保管

Version 2.2



SlideUp

現場を、滑らかに。

起動して、運用データを選ぶ

展開したSlate.htmlをEdgeかChromeで開きます。初めての配置・共有の準備は設定マニュアルへ。



1 新しく始める

「新規作成」でSLATE.jsonを作成。業務データはこのJSONに入り、HTMLには入りません。

2 続きから開く

「ファイルを開く」で既存JSONを選びます。次回は「前回のファイルに接続」で許可を確認します。

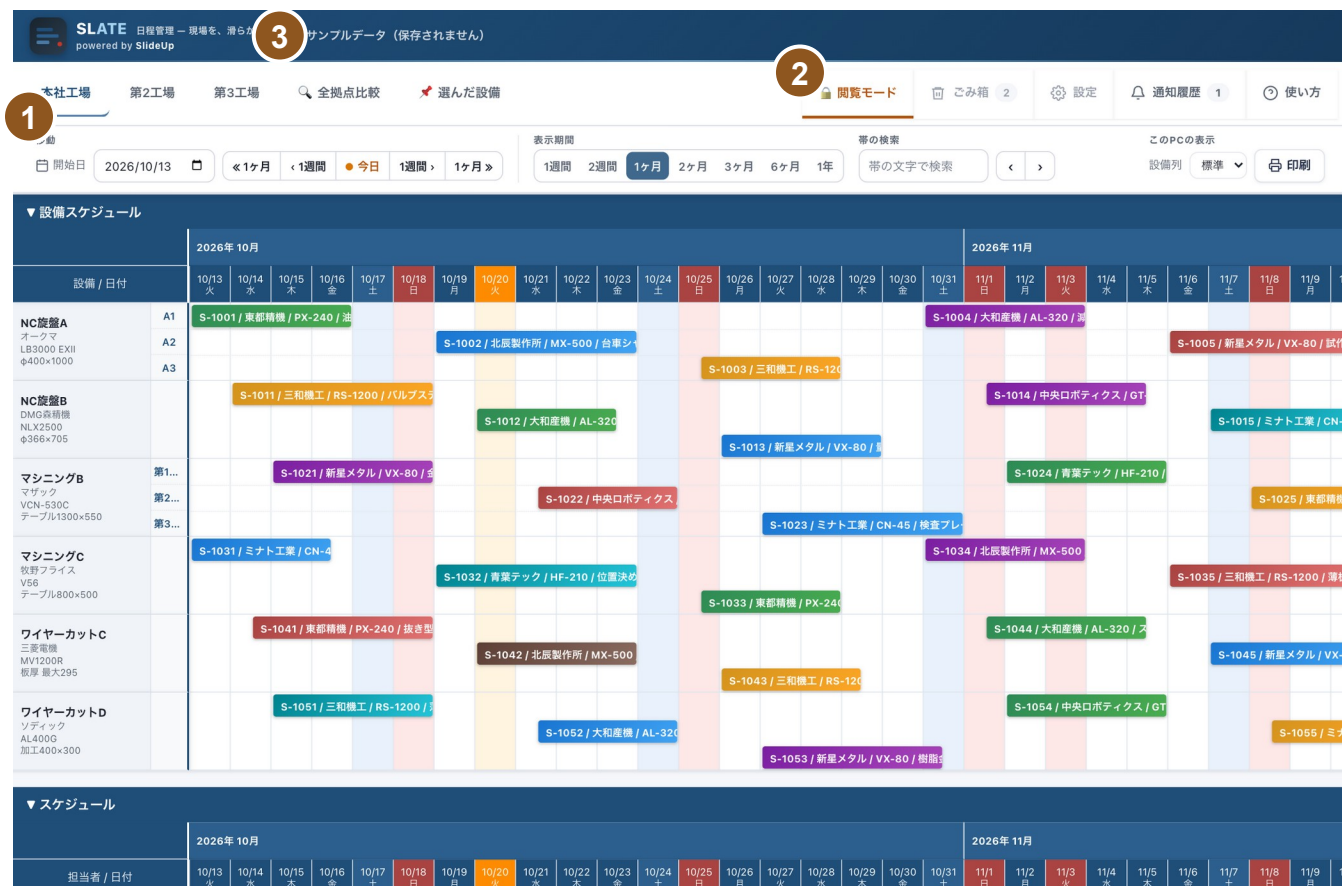
3 操作を試す

「サンプルを試す」で練習。変更は再読み込みや終了で戻り、運用データとは混ざりません。

画面は初回の入口です。「前回のファイルに接続」は前回の接続履歴がある場合に表示されます。

画面を確認し、閲覧と編集を切り替える

まず通常の拠点タブを選びます。起動時は閲覧モードが基本です。



1 拠点と2つの表

拠点タブで切替。上は設備、下は担当者の予定です。表の名前は設定で変更できます。

2 入力するときは編集へ

「閲覧モード」→確認画面の「編集モードへ」。設定・ごみ箱も編集モードで使います。

3 保存先と状態を確認

上部に接続先や保存状態を表示。運用中は自動保存されます。「通知履歴」で通知を確認します。

画面はv2.2のサンプルです。変更は保存されません。運用時は選択したJSONへ自動保存されます。

初期設定：表の名前と、このPCの起動モード

通常の拠点タブで編集モードへ切り替え、「設定」を開きます。

設定

表示・このPC・運用マスタ・休日・データを管理します。

表示設定

サンプル内だけでお試し

1

セクション名

サンプル内のみ

ガント表の2つのセクション見出しの名前をカスタマイズできます。

設備側	設備スケジュール
担当者側	スケジュール

2

このPCでは編集モードで起動する

このPCのみ

予定を編集する担当者のPCだけで有効にしてください。閲覧だけのPCは外したままにすると起動時は閲覧モードになり、誤操作を防げます。

3

● サンプルの変更は保存されません

1 表の名前を決める

「セクション名」の設備側・担当者側を入力。現場で使う表の名前へ変更できます。

2 編集するPCだけ設定

「このPCでは編集モードで起動する」を必要なPCで選択。ほかのPCには影響しません。

3 入力後は状態を確認

運用時の設定は自動保存。
上部の保存状態を確認し、
「設定」をもう一度押して戻ります。

画面はサンプルの編集モードです。設定は閲覧モードでは開けません。共有設定と「このPCのみ」を区別します。

準備：拠点と担当者を登録する

新規運用では、拠点を用意し、その拠点で予定を組む人と設備を登録します。

拠点

サンプル内のみ

左端の :: をドラッグして並べ替え（選択後、↑↓キーでも移動できます）

例：本社

1 + 拠点を追加

3

::

本社工場

削除

::

第2工場

削除

::

第3工場

削除

担当者（拠点ごと）

サンプル内のみ

左端の :: をドラッグして並べ替え（選択後、↑↓キーでも移動できます）

本社工場

例：山田 太郎

2 + 担当者を追加

::

山田

削除

::

佐藤

削除

::

田中

削除

::

伊藤

削除

::

渡辺

削除

::

中村

削除

1 拠点を追加

「拠点」の入力欄に名称を入力し「+ 拠点を追加」。上部の拠点タブで切り替えられます。

2 拠点ごとに担当者

「担当者（拠点ごと）」で登録。担当者の行が下側の工程表に表示されます。

3 使いやすい順に並べる

左端の「::」をドラッグ。
拠点・担当者の順は、工程表や選択枝にも反映されます。

画面はv2.2のサンプルです。変更は保存されません。運用時は選択したJSONへ自動保存されます。

準備：設備と、予定を並べる段数を決める

「設定」の「設備（拠点ごと）」で、各拠点の設備を管理します。

設備（拠点ごと）

サンプル内のみ

段数の既定値3 段（標準）

左端の :: をドラッグして並べ替え（選択後、↑↓キーでも移動できます）

段数で「既定」を選んだ設備と、担当者の行はこの段数になります。段数を減らしても、予定のデータは消えません。

本社工場

1 + 設備を追加

設備名	メーカー	型式	仕様	段数	
:: NC旋盤A	オークマ	LB3000 EXII	φ400×1000	既定（3段）	削除
3 段の名前	A1	A2	A3		
:: NC旋盤B	DMG森精機	NLX2500	φ366×705	既定（3段）	削除
段の名前	1段目	2段目	3段目		
:: マシニングB	マザック	VCN-530C	テーブル1300×550	既定（3段）	削除
段の名前	第1治具	第2治具	第3治具		
:: マシニングC	牧野フライス	V56	テーブル800×500	既定（3段）	削除
段の名前	1段目	2段目	3段目		

1 設備を拠点に登録

設備名と、必要に応じてメーカー・型式・仕様を登録。その拠点の工程表に並びます。

2 設備ごとに段数を選ぶ

「段数」は1～6段。
「既定」の設備と担当者の行は、「段数の既定値」に従います。

3 段の名前も入力できる

設備の各段に名前を付けると工程表で区別できます。段数を減らしても予定は消えません。

画面はv2.2のサンプルです。変更は保存されません。運用時は選択したJSONへ自動保存されます。

日々の入力：予定を作成・編集する

通常の拠点タブの編集モードで、空白セルを押して作成。既存の帯を押すと編集できます。

The screenshot shows a form for creating or editing a production schedule. It is divided into two main sections: '1 指示番号' (Instruction Number) and '2 開始' (Start). The '1 指示番号' section includes fields for 'メーカー' (Manufacturer: 北辰製作所), '機種' (Model: MX-500), 'パーツ' (Parts: 台車シャフト), and '予定数' (Quantity: 例: 120 / 左右各60). The '2 開始' section includes fields for '開始' (Start: 2026/10/19 0:00) and '終了' (End: 2026/10/23 24:00). Below these are a color selection grid (with the blue square selected), a status selection (with '着手' selected), and a dropdown for '担当者にも作成' (Assigned to manager: (作成しない)). At the bottom right, there are three buttons: '削除' (Delete), 'キャンセル' (Cancel), and '保存' (Save), with the '保存' button highlighted by a callout '3'.

1 予定の内容を入力

「指示番号」「メーカー」「機種」「パーツ」「予定数」を入力。予定数は「左右各60」なども可。

2 日時と状態を決める

「開始」「終了」は日付と1時間単位の時刻を指定。「色」と「着手」「完了」も変更できます。

3 保存して工程表へ

「保存」で確定。設備側では「担当者にも作成」で写しを追加。元の帯とは別々に動きます。

画面はv2.2のサンプルです。変更は保存されません。運用時は選択したJSONへ自動保存されます。

日程を調整し、目的の予定を探す

帯の移動・伸縮は、通常の拠点タブの編集モードで、2ヶ月以下の表示にして行います。



1 期間と日付を動かす

「開始日」「今日」と前後ボタンで移動。「表示期間」は1週間から1年まで切り替えられます。

2 帯を動かす・複製する

帯をドラッグで移動、左右端で伸縮。Ctrl (Macは⌘) を押しながらドラッグすると複製。

3 帯の文字で検索

「帯の検索」に指示番号などを入力。Enterで次、Shift+Enterで前へ。Escで検索を解除します。

画面はサンプルです。3ヶ月以上は俯瞰用でドラッグ不可。移動の刻みは表示期間により1時間～半日です。

閲覧：拠点比べ、必要な設備だけ表示する

全体の確認には「全拠点比較」、設備を絞るには「選んだ設備」を使います。

表示する設備を選ぶ

「★ 選んだ設備」のタブに、選んだ設備を拠点の順に並べて表示します（閲覧のみ）。このPCだけの表示で、運用ファイルには保存されません。あとから選び直すときは、表示中のタブをもう一度押します。

本社工場 すべて なし

1 ☐ NC旋盤A オークマ LB3000 EXII ☐ NC旋盤B DMG森精機 NLX2500

☐ マシニングB マザック VCN-530C ☐ マシニングC 牧野フライス V56

☐ ワイヤークットC 三菱電機 MV1200R ☐ ワイヤークットD ソディック AL400G

第2工場 すべて なし

☐ 汎用フライス 静岡鐵工所 STM-V ☐ ボール盤 キラ KRT-560

☐ ベンチ研削盤 日立工機 GT21 ☐ 帯のこ盤 アマダ HA-250

第3工場 すべて なし

☐ NC旋盤E 中村留精密 WT-150II ☐ マシニングD ブラザー S700X1

☐ プレス機 アマダ TP-80 ☐ 三次元測定機 ミットヨ Apex S574

0台を選択中 キャンセル 表示する 2

1 設備を選ぶ

「選んだ設備」を押し、拠点ごとに必要な設備へチェック。
「すべて」「なし」も使えます。

2 表示する

「表示する」で選んだ設備を拠点順に表示。担当者の表は出ず、閲覧専用になります。

3 選び直し・予定の変更

表示中の「選んだ設備」をもう一度押すと選び直し。
編集は通常の拠点タブへ戻ります。

画面はサンプルの設備選択です。選択はこのPCだけに保存され、共有先のPCの表示は変わりません。

表示中の期間を印刷・PDF保存する

通常の拠点タブで日付と表示期間を合わせ、「印刷」を押します。

印刷する表

選んだ表を印刷します（このPCで次回も同じ選択になります）。印刷画面でレイアウトを「横向き」にしてください。

1

☒ 両方

☐ 設備スケジュールだけ

☐ スケジュールだけ

キャンセル 印刷する 2

1 印刷する表を選ぶ

「両方」か、設備側・担当者側のどちらかを選びます。選択はこのPCで次回も使われます。

2 印刷画面へ進む

「印刷する」を押し、ブラウザの印刷画面で用紙とレイアウト「横向き」を選びます。

3 紙またはPDFで保管

PDFは保存先を「PDFとして保存」へ。幅は用紙に合わせて縮小、行が多いと次のページへ続きます。

画面はサンプルです。表示期間が長いほど文字は小さくなります。全拠点比較・選んだ設備では印刷できません。

保存先と、バックアップの種類を確認する

編集モードの「設定」→「データ管理」へ。全予定の控えは、運用モードで書き出します。



1 接続先と件数を確認

「データ状況・ストレージ」で接続先とデータ件数を確認。この画像はサンプルの状態です。

2 設定JSONは設定だけ

「設定JSONを書き出す」は拠点・担当者・設備・休日用。全予定の控えにはなりません。

3 運用時は全データを保管

運用時に表示される「JSONを書き出す（バックアップ）」で保管。入口で控えを開くと保存先も切替。

画面はサンプルのため、全データのバックアップボタンは表示されません。運用時は日付ごとに控えを保管します。

削除した予定を、ごみ箱から戻す

予定の編集画面で「削除」すると、ごみ箱へ移ります。通常の拠点タブの編集モードで開きます。

1

ごみ箱

削除したタスクを復元できます。自動削除はされません。完全削除すると元に戻せません。

選択した 0 件を完全に削除

☐ すべて選択	種類	名前	削除日時	
☐	タスク	外注確認 追加	2026/10/18 11:20:00	2 復元 完全に削除 3
☐	タスク	治具ブロック追加工	2026/10/15 15:40:00	復元 完全に削除

1 削除した予定を確認

「ごみ箱」で種類・名前・削除日時を確認。削除した予定は自動では完全削除されません。

2 戻すときは復元

対象の「復元」で戻します。戻した後は通常の拠点タブで予定の位置と内容を確認します。

3 完全削除は慎重に

「完全に削除」は元に戻せません。複数件の選択も可能ですが、確認画面で対象を確認します。

画面はサンプルのごみ箱です。閲覧モードでは開けません。完全に削除した予定はごみ箱から復元できません。

複数のPCで同じ予定を見る

SHARED OPERATION

保存先を全員でそろえる

共有フォルダ・NAS・同期フォルダなど、同じ場所の同じSLATE.jsonを開きます。配置と同期は設定マニュアルへ

保存状態を確認する

入力は数秒ごとに自動保存。保存後は約10秒以上、両PCを表示したまま相手の更新を確認してから閉じます

競合ファイルを見つけたら

両PCの最後の入力が運用ファイルにあるか確認。足りない・判断できない場合は競合ファイルを共有外に保管し管理者へ

時計と担当をそろえる

PCの日時を自動設定にします。同じ予定の同時編集を避け、設定の変更は担当者を決めて行います

同期フォルダも確認する

OneDrive等を使う場合は同期完了も確認。別名の競合ファイルは開いて編集せず、運用ファイルの内容を確認します

JSONの控えを定期保管

バックアップは共有先と別の場所にも保管。復旧や更新時は、再開するJSONと使用するHTMLの版を全PCでそろえます

復旧・体験版・更新

RECOVERY & UPDATE

保存に失敗したら

閉じたり再読込せず、復旧パネルの「今すぐ再試行」。保存先の権限や同期状態も確認

控えから運用を再開

控えを保存後、復旧パネルの「ファイルを開く」で控えJSONを選択。画面は選択先の内容に置き換わります

製品版へ切り替える

製品版のSlate.htmlで保存済みJSONを開くと続けられます。サンプルでの変更は引き継ぎません

未保存の内容を保管

復旧パネルの「JSON（バックアップ）」で控えを保存。控えを取る前に画面を閉じないでください

30日間体験版

初回起動から30日間。期間終了後は入力・変更・保存が停止。既存データはコピーで試してください

版を更新するとき

JSONの控えを取り全PCのHTMLを同時に更新。v2.2保存後のファイルはv2.0／v2.1では開けません

ヒント・運用 Tips

TIPS & TRICKS

帯の移動・複製

ドラッグで移動、Ctrl（Macは⌘）を押すと複製。3ヶ月以上の表示はドラッグ不可

設定の「担当者」

担当者を拠点ごとに登録。設備の予定から「担当者にも作成」で写しを追加できます

閲覧モード

閲覧用PCで誤操作を防ぎます。設定・ごみ箱を使うときは通常拠点の編集モードへ

設定の「拠点」「設備」

拠点を作り、その拠点の設備を登録。設備ごとの段数・段の名前も設定できます

設定の「休日」

休日を登録し、土曜日の扱いも確認。表の名前は設定で変更できます

削除とごみ箱

予定の「削除」はごみ箱へ移動。「復元」で戻せます。「完全に削除」は元に戻せません

機能リファレンス

FUNCTION REFERENCE

VIEWS

表示モード

- 1 設備の表／担当者の表
- 2 拠点別／全拠点比較／選んだ設備
- 3 1週間・2週間・1～3ヶ月・6ヶ月・1年

EDIT

編集機能

- 1 閲覧モードから編集モードへ
- 2 空白セルで予定を作成
- 3 開始・終了・色・状態を編集

OUTPUT

出力機能

- 1 「印刷」で表を選び、PDF保存
- 2 データ管理のJSONで全データを保管
- 3 設定JSONは追加のみ／設定CSVも利用可